西中通信

発行　西会津中学校
文責　五十嵐　正彦（校長）

第二学期終了

学校評価で振り返る二学期

課題解決能力の育成

図書館の活用と読書習慣の定着については、まだまだ低い評価にとどまっていますが、ビブリオバトル大会等をきっかけに、読書量が増えたという声も聞きますので、今後も粘り強く取り組んでいきたいと思います。

授業においては、ねらいを明確にしてまとめをしっかりと行うことや、学習内容を活用することがある程度はできていますが、評価は目標までには至っていませんので、さらに強い意識をもって実践していきたいと思います。

情報モラルについては、高い評価となっています。マウスプロを利用するようになっていて、意識が高まっていると思います。

性教育等については、新型コロナの影響で外部講師の授業等が中止となりましたが、将来にわたり非常に大切な事ですので、工夫しながら取り組んでいきたいと思います。

自己理解・自己管理能力の育成

早寝・早起き・朝ご飯については、今一歩というところです。規則正しい生活リズムは強い心身を作る土台ですので、ご家庭と連携を密にして徹底していきたいと思います。

育相談については、十分な評価とは言えません。日常的に生徒が気軽に相談できる環境整備に努めたいと思います。

運動できる環境については、新型コロナの影響で制限が多い状況が続いていますが、工夫しながら取り組んできた結果、評価は高まっていきますので、取組を継続していきたいと思います。

身だしなみを整えることや時間を守ることについては、学年が上がるにつれて評価が高くなっていますが、生徒一人一人が自律できるように、しっかりと指導していきたいと思います。

人間関係形成・社会形成能力の育成

体験活動の充実については、新型コロナの影響で、地域交流体験活動等が中止となりました。今後交流の方法等を工夫しながら取り組んでいきたいと思います。

活動については、話す・聞く・話し合うなどコロナの影響で制限が多い状況が続いていますが、マウスプロ等を有効活用して、様々なコミュニケーションの方法を取り入れたいと思います。

人権尊重の心については、高い評価となりました。光桐祭をはじめ諸行事への取組を通して、人の和を大切にする心が育っていると思います。

あいさつや返事については、学年が上がるにつれて評価が高くなっていますが、全生徒が自ら進んでいるとは言えません。

安全で規律ある行動については、学年が上がるにつれて周囲の状況を見て適切に判断し行動できることは、非常時にも自他の命を守ることにもつながりますので、しっかりと指導していきたいと思います。

家庭学習習慣については、残念ながら、評価は目標に達しませんでした。すらすらカップなども実施しましたが、家庭学習習慣の定着が不十分な現状ですので、すらすらの積極的な活用を推進しながら、ご家庭と連携を密にして指導していきたいと思います。

個に応じた指導については、目標を超える評価でした。

支援員による学習支援や、マウスプロ・すらすらの活用で、一人一人に合ったら学習がより可能になってきたことが、高い評価につながったと考えられますので、さらに充実させていきたいと思います。

部活動については、新型コロナの影響で制限が多い中でコロナ部活動にさしたが、新人総合大会等も実施され、本校各部の大会活躍が充実したいと思います。

食育の充実については、生徒評価が非常に高かったです。特に３年生は４段階評価の４（パーフェクト）でした。毎日の「給食センターからこんにちは」（給食時）や手作り弁当等の取組で、望ましい食生活への意識が向上していると思います。

何をするにしても新型コロナの影響が大きく、思うように取り組めなかったところも多々ありますが、嘆いている暇はありません。ピンチはチャンス！冬は必ず春となる！どのような状況下でも逞しく生き抜く力を身につけさせるという目標に向かって、今後にも基礎的・汎用的能力の育成に全力を尽くしていきます。

※学校評価の結果は裏面です。

生徒会役員と懇談会12/18

先週全校レク大会を無事に成功させた、生徒会の会長・副会長・総務の皆さんと懇談会を行いました。それぞれに聞いたことを発表し、実行力のある生徒会役員の皆さんに、西中をさらによくしたいという熱い思いを語ってもらいました。

新たな試みとして生徒会新聞を発行するなど、アイデアが大変高まります。期待が高まります。

1月の行事予定

○冬季休業　～7日(木)
○第三学期始業式　8日(金)
○休み明けテスト　12日(火)
○野沢初市　13日(水)
※５校時限・部活中止
○熟読タイム　20日(水)
※Ｂ日程・部活中止
○生徒会専門委員会　27日(水)

福島民友新聞より

有馬朗人さん死去

元文相、東京大学長

90歳

が同日午前、見つかった。90歳。大阪府出身。1953年、東大理学部卒。東大助手、助教授を経て75年に教授。89～93年に

まとめた。98年の参院選で、自民党の比例代表名簿1位で当選した。直後に発足した小渕恵三内閣で文相に就任、そ

歌人でもあった有馬氏は、西会津町の自然や文化をテーマに作詞をされた本校の校歌を作詞されたご冥福をお祈りします。